

奈っ自慢子

子どもたちに身に付けさせたい力 文責 寺脇秀司
 主体性：^{しゆたいせい} 気づく→ ^か 考える→ ^う 動く
 人前力：^{ひとまえりよく} 自ら表現・他者理解・協働

校訓	なせばなる なさねばならぬ なにごとも ならぬは 人の なさぬなりけり
教育目標	夢・実現 ~楽しい3つの力の育成を通して~ 3つの力【つながる力】【わかる力】【えがく力】 愛言葉 あ挨拶 い一生懸命 う動く え笑顔 お思いやり

11月

○2区からの 気持ちとたすき 受け取って たすきのひも締め 気持ちも締める (琉巳)
 ○ぼくは今 びっくりしていることがある 落語は今や 3D式 (拓翔)

行事に燃える2学期

音楽祭

11月4日(水)奈留小中学校音楽祭を開催しました。今年のテーマは「奏(かなでる)サブテーマ「コロナに負けずに、協力して、自分らしく、スマイルを届けよう。」でした。

今年の音楽祭は開催できるか心配しましたが、「子どもたちは行事で育つこと」「子どもたちの活躍の場を作ること」から感染対策を講じた上で実施することにしました。

「コロナに負けず」には、多くの方々の努力で開催してもらったことへの感謝の気持ちが込められています。

コロナ禍だから感じる事ができた子どもたちのすばらしい気づきだと思います。

(小1・2年)

○合唱では強弱をつけてやさしく歌うことができました。「かえるの合奏」では心をひとつにして、リズムを合わせようという必死さが伝わりました。緊張から引きつった笑顔がとてかわいかったです。



(小3・4年生)

○口を大きく開けて、はじけるような明るい歌声で普段の元気の良さがよく表現されていました。私も元気をもらいました。



(小5・6年生)

○合唱「あすという日が」は2011年3月11日に起きた「東日本大震災」の復興を祈願して歌われた曲です。

5・6年生は自分たちでこの曲を選び、思いを込めて歌ってくれました。

今を大切に生

きなればという思いが伝

わりました。

私は「踏まれても、なお伸びる、道の草、踏まれた後から芽吹いてる。」という歌詞が印象に残りました。

(中学生)

○合唱「心の中にきらめいて」は「学校生活の思い出」を歌ったものです。特に3年生にとっては卒業を控え「9年間の思いを込めて」歌ったことだと思います。

是非、奈留小中学校での思い出を心の支えにこれからの人生を生き抜いてほしいと思いつつ聞かせてもらいました。

合奏では4匹の猿が登場し、会場を沸かせてくれました。

○今年は地域のハタアゲのみなさんの映像出演がありました。編集を工夫され、小中学生へのメッセージもあり、すばらしい出来映えでした。音楽祭を盛り上げてくださってありがとうございました。

○職員も合唱で音楽祭を盛り上げました。コロナ禍で無事開催できたことをこれまで開催に向けて尽力してくれた文化的行事担当・音楽科職員をはじめ全職員で喜んでいきます。子どもたちの成長を実感した行事になりました。

(子どもの気づき)

○ハタアゲの方々の映像もおもしろかったし、最後の言葉は「たしかに！」と思った。先生方の歌は「大人の雰囲気」でシーンとなりました。自分たちの歌では少し緊張していたかなと思ったけど、音楽祭は感動したりワクワクしたり、心が大忙しでした。

○Kくんが小芝居の前緊張していた、でもやるとみんなが喜んでいて、人前力って大事だなと思った。



小学校記録会



10月14日(水)五島市中央公園陸上競技場でコロナの影響で中止になった小体連の代わりに、奈留小学校陸上競技記録会を開催しました。

多くの保護者の方々に、競技のお手伝いをしていただき、ほのぼのとした手作りの記録会になりました。

子どもたちは絶好の記録会日和の中、貸切の競技場で、笑顔で伸び伸びと競技していました。

全員が自己新記録を出し、保護者の方々の親睦も深めることができ、有意義で感動的な記録会になりました。

担当の先生方は0からの準備で、非情に大変だったと思いますが、子どもたちを全天候の競技場で競技させたいという強い思いがこ

の記録会を実現させました。

例年の小体連よりも成果が見られた部分もあり、コロナ禍でもできることがあることを再認識し「ピンチがチャンス」に変わった1日になりました。

(子どもの気づき)

○毎日練習して、みんなで良い記録が出せたこと。先生方のおかげで陸上競技場を貸し切って、みんなで協力して走れたこと。

○全種目、自己ベストを出すことができ良かったし、良い思い出を作ることができてうれしかった。これからも自己最高記録が出せるよう全力でがんばっていきたい。

●この写真は、バトンを渡した K さんが、バトンをもらって走り出した M さんに「走れ!」と大きな声で叫び、背中を押している感動的な写真です。実はこのチームには記録会直前にアクシデントがあり、スタートラインに着くま

でに様々なドラマがありました。そのような中、しっかりゴールまでバトンをつないだメンバーに心から拍手を送ります。



職場体験

10月20日(火)から3日間、中学2年生の職場体験学習を行いました。子どもたちは受け入れていただいた事業所への感謝の気持ちを胸に意欲的に活動しました。

子どもたちが将来「天職」と出会い、地域や社会に貢献できる人になるための学びの場になったことを期待したいと思います。コロナ禍の中、受け入れていただいた、奈留町漁港協同組合、奈留医療センター、奥居旅館、すずらん、さくら保育園の方々に心から感謝申し上げます。



(子どもの気づき)

○保育園の子どもたちは、いろいろな考えや発想・才能をそれぞれ持っている。その個性に合わせて接してあげることが大切。

○職場体験では「笑顔」が大切。漁協の方々はずっと笑顔で和やかな雰囲気の良いと思いました。また行きたい。

○コミュニケーション力が上がりました。人の話を聞くことの大切さを学んだ。

ロボコン県大会

11月1日(日)第21回創造アイディアロボットコンテスト長崎県中学生大会が佐世保市で開催され、総合文化部から4人と2体のロボットが出場し、2位と3位というすばらしい結果を残してくれました。

小さい学校でも努力すれば県の上位になれるという、校訓「なせばなる」を実践してくれました。

(結果)

準優勝

スティッキーパーソン
深堀 友翔
城田 佳摩

3位

もっち〜
門脇 光希
立石 茉穂



2学期の目標「行事に燃える」
実りの2学期：勢いのある奈留小中です。